

# スマイルアップだより



平成30年2月23日

大寄小学校 学校保健委員会

2月8日(木)、本年度第2回大寄スマイルアップ(学校保健委員会)が開催されました。今回は、前半に6-1で性教育の授業を参観していただき、後半に会議という形式で行われました。前半の性教育は助産師の橋本幾子先生を講師にお迎えし、授業をしていただきました。会議では、授業を参観しての意見交換や50m走チャレンジ・第2回歯科健診結果・インフルエンザ流行の報告がありました。

## — 6-1 性教育授業 —

\*\*「すてきな命・かがやく命」 講師 助産師 橋本幾子先生 \*\*



命の誕生の様子

・助産師として、出産の話を交えて・  
今、ここであなたが生きていることは、たくさんの人の手がかけられ、愛情が注がれてきた証拠である。

命の誕生のしくみ

・受精の奇跡的な仕組み～今、自分が存在している奇跡的な確率

命の伝承

・受け継がれてきた命をつないでいくための体の仕組み

第二性徴について ・大人に向かう体の変化・心の変化～個人差や親とのかかわり方等

自分を大切にすること・自分の命が大切・プライベートゾーン等



### <児童の感想>

・私は今日の話聴いて、命の大切さについて考えることができました。自分が無事に生まれて生きてこれたのは、親はもちろん橋本先生のような出産のお手伝いをしてる人や、周りの色々な人のおかげということが分かりました。ですから、自分の命を大切に、親や周りの人に感謝しながら生きていきたいと思いました。私は将来、お母さんのような優しい母親になりたいと思っています。今日は、本当にありがとうございました。  
・周りの人に助けってもらったり、両親などが大変な思いをしてくれたおかげで、今、ここに自分が居るのだと思いました。話しの中で反抗期についてありましたが、今の自分は、とても反抗しています。けれども、色々な人達に助けられて存在している自分の命だと考えると、自分を大切に、感謝したいと思いました。



\*\*「すてきな命・かがやく命」の授業参観を  
しての意見交換\*\*

### <参加した委員の方の感想>

・親の方がドキッとする内容でも、子ども達は自然に受け止め、勉強していました。性教育の学習を計画的に積み重ねてきた結果であると感じました。性教育の授業を参観日などで親子一緒に学べたら、家庭での話題にしやすいと思います。  
・子ども目線で、とても楽しく、引き込まれるお話でした。興味深く聴けましたし、自分のことも思い出し感動しました。子どもの表情を見ていると、とても真剣に聴いていて、一緒に話を聴けてよかったです。子どもにイライラすることもあるけど、居るだけで”ありがとう”という気持ちを大切にしたいと改めて思いました。とても、いい授業でした。  
・子どもと向き合って正しく伝えていこうと思いました。親として、ここまで伝えるということが分かり、良かったです。

\*\* 体力向上の取り組みについて ~新井体育主任より\*

・50m走チャレンジの結果

1学期測定結果より2学期の測定結果の方が、5年女子を除く、全学年タイムが伸びていた。また、県平均より上回っている。強化をしてきた結果があらわれている。今後は、女子の走力強化や、体力結果の下位の児童の強化が課題である。



\*\* 第2回歯科健診結果・インフルエンザの流行の様子について ~仙波養護教諭より

★4月の歯科健診と比較し、むし歯・CO・歯肉炎も良い結果であった。歯垢はついていなくても、軽い歯肉炎を起こしている児童がおり、日頃の口の中のケアが大切である。学校でも口の中をきれいにできる習慣が身につけられるように保健活動を行うので、ご家庭の協力を引き続きお願いしたい。



### <丸山学校歯科医より>

むし歯は感染症であることを認識してほしい。子どもだけでなく、家族全員で、口の中の衛生を保てるように取り組んでほしい。



★大寄小学校でのインフルエンザ流行の様子

1月中旬から2月上旬にかけてA型・B型の両方が同時に流行し、2、3、4年が学年閉鎖を行った。やっと流行が収まってきているが、引き続き予防に心がけてください。

### <見内学校薬剤師より>

・18歳未満でタミフルを服用していなくても、インフルエンザにかかり、高熱時に異常行動を起こすケースが報告されている。お子さんがインフルエンザにかかった場合、高熱時には目を離さないようにすることが重要。  
・インフルエンザにかかり、解熱剤によっては、使用して脳症を起こす危険のあるものがあるので、必ず医師にかかることが大切。  
・インフルエンザ薬の使用は、発症から48時間以内が効果が得られることが多い。

